

掲示 板

- . 平成23年度 夏期スクーリングの開講について
- . MELOP継続利用申請について
- . 教職総合演習の開講について
- . 平成23年度 単位修得試験日程について
- . 平成23年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- . 学費の分納について（前期生対象）
- . 担当者の変更について
- . 単位修得試験（8月試験）の実施について
- . 卒業生だより
- . 行事予定（6月・7月）

注意事項

1. 事務取扱時間
月～土曜日 9:00～17:00
日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の
行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて
事務の取扱いを行います。）
2. 電子メールの宛先
csoffice@ogu.ac.jp
電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号
と氏名を明記してください。
3. ホームページによるシラバスの閲覧について
各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。
なお、自宅にホームページを閲覧できる環境のない方は、通信
教育部事務室にお問い合わせください。
ホームページアドレス
<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

掲 示 板

. 平成23年度 夏期スクーリングの開講について

1. 日程および時間割

【第 期】

(開講期間 : 7月28日 ~ 8月2日)

開講期間	講時				
	時間	9:00 } 10:30	10:40 } 12:10	13:10 } 14:40	14:50 } 16:20
7月28日(木)	オリエンテーション	情報基礎演習(戸田健太郎) ドイツ語(神谷善弘) 簿記原理A(船本修三) 経営学(池田広男) 工業簿記(西村重富) 原価計算論(後藤晃範)	情報基礎演習(戸田健太郎) 英語(田辺久美子) 商業学(地引 淳) 会计学(田中延幸) 国際貿易論(金川 徹)		
7月29日(金) } 8月1日(月)	情報基礎演習(戸田健太郎) ドイツ語(神谷善弘) 簿記原理A(船本修三) 経営学(池田広男) 工業簿記(西村重富) 原価計算論(後藤晃範)	情報基礎演習(戸田健太郎) 英語(田辺久美子) 商業学(地引 淳) 会计学(田中延幸) 国際貿易論(金川 徹)			
8月2日(火)		予	備	日	

- (注) 1. 8月1日(月)・講時に、スクーリング単位修得試験を実施します。
2. ()内は担当者を示す。

【第 期】

(開講期間 : 8月4日 ~ 8月9日)

開講期間	講時				
	時間	9:00 } 10:30	10:40 } 12:10	13:10 } 14:40	14:50 } 16:20
8月4日(木) } 8月8日(月)	情報処理演習(本多 剛) ドイツ語(神谷善弘) 簿記原理A(田中延幸) 工業簿記(西村重富) 経営管理論(喜田昌樹)	情報処理演習(本多 剛) 英語(宇治田勝) スポーツ実習(山内 武) 会计学(郡司 健) 基本経済学(中山嘉彦) 会計監査論(谷口美智代)			
8月9日(火)		予	備	日	

- (注) 1. 8月8日(月)・講時に、スクーリング単位修得試験を実施します。
2. ()内は担当者を示す。

掲 示 板

2. スクーリング単位修得試験受験の要件

各科目の授業時間数は1日連続2講時、5日間で10講時です。スクーリング単位修得試験の受験には全講時出席が必要で、1講時でも欠席があると受験できません。

3. スクーリング受講手続について

次の方式で受講手続を行います。

(1) スクーリング参加申込書等、必要書類を大学に送付〔機関誌23年5月号巻末の「2011スクーリングの手引き」をご覧ください。〕

(2) 大学から個々の受講料等の金額を印字した「納付書」の送付

(3) 送付された納付書により各自が銀行窓口で振込
納付書の「振込証明書」部分を大学に送付

4. 受講申込受付期間

平成23年6月20日(月)～7月1日(金)

5. 参加費用

(1) 参加手数料 1,500円

(2) 受講料 1科目 4,000円

6. 振込証明書提出期日

平成23年7月11日(月)

・MELOP継続利用申請について

過去に夏期スクーリングにおいて「情報基礎演習」・「情報処理演習」を受講した方は、「MELOP会員」となっており、本学の情報処理関係機器の利用が自由となっています。但し、年度毎に継続利用申請が必要ですので、利用希望の方は返信用封筒(80円切手貼付)を同封の上、紙片に「MELOP継続利用申請書請求」と明記し、通信教育部事務室まで請求してください。

掲 示 板

・教職総合演習の開講について

教職総合演習を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続きを行ってください。

1. 開講期間

平成23年7月28日(木)～8月1日(月)【5日間】

2. 講義時間と講義内容

開講日	講時	時間帯	講義内容
7月28日(木)	1	9:00～10:30	第1回 総合的学習とは？
	2	10:40～12:10	第2回 日本人にとって、異文化理解のハードルとは？
7月29日(金)	1	9:00～10:30	第3回 異文化理解の基礎としての風土・歴史(スイス国を事例として)
	2	10:40～12:10	第4回 興味あるテーマについての探究活動
7月30日(土)	1	9:00～10:30	第5回 「いのち」にまつわる諸問題
	2	10:40～12:10	第6回 いじめ、自殺と「いのち」
7月31日(日)	1	9:00～10:30	第7回 青少年問題と「いのち」
	2	10:40～12:10	第8回 生命倫理と「いのち」
8月1日(月)	1	9:00～10:30	第9回 「国際理解」の発表
	2	10:40～12:10	第10回 全体試験

3. 受講申込手続

便箋等に「教職総合演習受講希望」の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記・80円切手貼付）を同封して通信教育部まで受講申込書を請求してください。（「教職総合演習受講申込書」はホームページからもダウンロードできます。）

4. 受講申込締切日

平成23年7月11日(月)必着

掲 示 板

．平成23年度 単位修得試験日程について

平成23年度の単位修得試験日程は下表のとおりです。

試 験 日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H23. 6 .19(日)	H23. 5 . 9 (月)	H23. 5 .23(月)～H23. 5 .27(金)
H23. 8 .21(日)	H23. 7 .11(月)	H23. 7 .25(月)～H23. 7 .29(金)
H23.11.27(日)	H23.10.24(月)	H23.11. 7 (月)～H23.11.11(金)
H24. 2 . 5 (日)	H24. 1 . 6 (金)	H24. 1 .16(月)～H24. 1 .20(金)

旧履修について

「単位修得試験問題範囲番号表」に旧とある授業科目は、平成23年度からテキストを変更したため、平成22年度および平成22年度以前の履修登録者を対象に1年間を限度として、平成22年度レポート課題によるレポート提出および平成22年度単位修得試験問題による受験を認めています。「旧履修」はこの制度のことを表わします。

 掲 示 板

・平成23年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について

通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常（第1種）の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の都合上、リポート到着が下表の予定日より遅れる場合も多々あります。

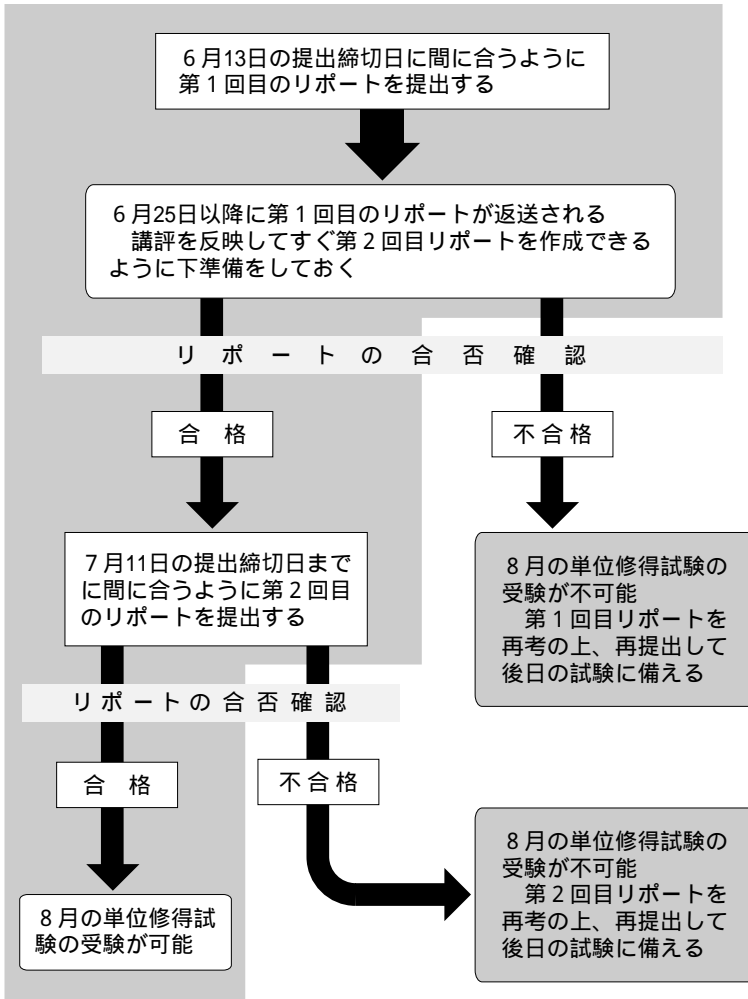
その点を考慮した上でリポートを提出するようにしてください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日 (事務室受付期間)	提出者の手元へ	リポート提出締切日 (事務室受付期間)	提出者の手元へ
H23. 5 .30(月) (H23. 5 .10 ~ 5 .30)	H23. 6 .11(土)	H23. 11 . 7 (月) (H23.10.25 ~ 11 . 7)	H23.11.19(土)
H23. 6 .13(月) (H23. 5 .31 ~ 6 .13)	H23. 6 .25(土)	H23. 11 .28(月) (H23.11. 8 ~ 11.28)	H23.12.10(土)
H23. 6 .27(月) (H23. 6 .14 ~ 6 .27)	H23. 7 . 9 (土)	H23. 12 .12(月) (H23.11.29 ~ 12.12)	H23.12.24(土)
H23. 7 .11(月) (H23. 6 .28 ~ 7 .11)	H23. 7 .23(土)	H24. 1 . 6 (金) (H23.12.13 ~ H24. 1 . 6)	H24. 1 .14(土)
H23. 8 . 1 (月) (H23. 7 .12 ~ 8 . 1)	H23. 8 .20(土)	H24. 1 .16(月) (H24. 1 . 7 ~ 1 .16)	H24. 1 .28(土)
H23. 8 .22(月) (H23. 8 . 2 ~ 8 .22)	H23. 9 . 3 (土)	H24. 2 .13(月) (H24. 1 .17 ~ 2 .13)	H24. 2 .25(土)
H23. 9 .12(月) (H23. 8 .23 ~ 9 .12)	H23. 9 .24(土)	H24. 3 .12(月) (H24. 2 .14 ~ 3 .12)	H24. 3 .24(土)
H23.10. 3 (月) (H23. 9 .13 ~ 10 . 3)	H23.10.15(土)	H24. 3 .30(金) (H24. 3 .13 ~ 3 .30)	H24. 4 .11(水)
H23.10.24(月) (H23.10. 4 ~ 10.24)	H23.11. 5 (土)		

事務局が閉局あるいは職員が不在の時に、リポート提出のつもりでカウンターの上や事務局前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じて、当局では一切責任を負えません。

掲 示 板

例) 平成23年 8月21日実施の単位修得試験で、特定の4単位科目を受験するために、最短期間でレポートを提出する場合



掲 示 板

・学費の分納について（前期生対象）

前期生（4月入学）で平成23年度の学費分納者は、2回目の納付期限が平成23年7月31日（日）（納付期限日が休日または銀行休業日の場合は、翌銀行営業日となります。）となっています。納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。

・担当者の変更について

「現代憲法B」の担当者を5月9日から9月30日までの間、有澤知子教授から大久保卓治准教授に変更しますので、お知らせします。

キャンパス内全面禁煙

掲 示 板

・単位修得試験（8月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は、所定の手続きを行って受験してください。

1. 試験日時

平成23年8月21日(日)10:00～16:00（本学・学外試験場）

2. 場 所

- (1) 本 学
- (2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場
学外の試験場は、「受験票」返送の際に受験者個々に連絡します。

3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名
1	10:00 }	0100	哲学概論	1202	経営管理論	1658	民法
		0107	倫理学概論	1437	基本経済学	8002	医療経営情報論
		0126	地域地理学	1013	国際マーケティング論	5029	教育原理
		0203	現代憲法A	1061	国際会計論	5030	教育原理
		0204	現代憲法B	1407	金融経済論	5013	同和教育
		0319	心理学概論	1439	●財政学	5060	●教師論
		1056	原価計算論	1625	税 法		
2	12:20 }	0200	経済学概論	1005	●流通政策	1667	商 法
		0202	法学概論	1058	会計監査論	8001	医学一般
		0314	地球の科学	1059	税務会計論	5001	教育心理学
		0317	統計学概論	1009	●商業数学	5004	商業科教育法
		0409	生涯スポーツ論	1203	経営統計学	5010	特別活動
		1000	商業学	1206	経営財務論	5061	商業科教育法
		1004	国際貿易論	1657	民 法	5062	商業科教育法
3	14:20 }	0109	歴 史	1055	財務諸表論	8003	病院経営会計
		0115	文学概論	1060	経営分析	8004	福祉経営情報論
		0215	現代文化論	1200	経営学	8005	医療福祉経営論
		0216	政治学概論	1010	外国為替論	5002	教育方法学
		0304	生命の科学	1205	生産管理論	5011	生徒指導の研究
		0325	現代物理学	1210	経営組織論	5015	職業指導
		0408	健康と運動	1212	経営学史	5071	進路指導概論
		1003	マーケティング論	1668	商 法		

- (注) 1. 各講時(100分)において2科目まで受験できます。
 2. 1科目の試験時間は50分間です。
 3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。
 4. ●印の科目は教科書が変更されました。平成22年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

掲 示 板

4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部HP(<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)より、『開講科目』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、受験する科目の「講義要項(Syllabus)」を選べば、問題が確認できます。

5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(8月試験)」を参照してください。

6. 受験資格

次の(1)~(3)を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること。
- (2) 受験する科目を履修登録していること。
- (3) 2単位科目はレポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。

7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書(本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒(宛名明記・80円切手貼付)

8. レポート提出締切日

平成23年7月11日(月)必着

9. 受験申込受付期間

平成23年7月25日(月)~7月29日(金)必着

 掲 示 板

単位修得試験問題範囲番号表（8月試験）

試験日：平成23年8月21日（日）

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学概論	5 7 8	商業学	4 5 6	商業数学	2 6 10 14 18
倫理学概論	4 5 6	マーケティング論	4 5 6	旧商業数学	2 7 11 15 18
歴史	3 5 9	国際貿易論	4 5 6	外国為替論	2 3 4 5 6
文学概論	1 5 7	流通政策	4 5 6	国際マーケティング論	5 6 7 8 9
地域地理学	5 9 10	旧流通政策	3 4 5	国際会計論	3 6 10 13 15
経済学概論	4 5 6	財務諸表論	2 5 6	経営統計学	2 3 7 18 19
法学概論	2 6 9	原価計算論	5 6 8	生産管理論	2 6 10 14 18
現代憲法A	1 9 10	会計監査論	3 7 9	経営財務論	6 7 8 9 10
現代憲法B	4 5 6	税務会計論	2 6 10	経営組織論	1 2 4 6 13
現代文化論	4 5 6	経営分析	2 7 10	経営学史	2 6 10 14 18
政治学概論	4 5 6	経営学	4 5 6	金融経済論	2 5 9 13 17
生命の科学	2 4 8	経営管理論	2 8 9	財政学	6 7 8 9 10
地球の科学	1 4 7	基本経済学	2 6 10	旧財政学	6 7 8 9 10
統計学概論	2 3 4	医学一般	4 5 6	税法	2 6 10 14 18
心理学概論	3 6 10	医療経営情報論	2 6 8	民法	4 5 12 15 18
現代物理学	1 3 4	病院経営会計	2 8 10	民法	4 6 13 14 15
健康と運動	2 3 5	福祉経営情報論	2 3 9	商法	6 7 8 9 10
生涯スポーツ論	1 5 8			商法	6 7 8 9 10
				医療福祉経営論	2 5 8 11 18

教職課程科目〔旧課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教育原理	4 5 6	特別活動	4 5 6	職業指導	11 12 13 14 15
教育心理学	2 4 9	教育方法学	4 5 6		
教育原理	2 4 5	生徒指導の研究	2 5 9		
商業科教育法	2 6 10	同和教育	4 5 6		

教職課程科目〔新課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	3 5 6	商業科教育法	2 6 10	職業指導	11 12 13 14 15
旧教師論	5 6 8	特別活動	4 5 6		
教育原理	4 5 6	教育方法学	4 5 6		
教育心理学	1 6 8	生徒指導の研究	2 5 9		
教育原理	2 4 5	進路指導概論	5 6 7		
商業科教育法	2 6 10	同和教育	4 5 6		

注：試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「旧」のある場合は「シラバス2010」で確認してください。

各科目範囲番号より1題が出題されます。

通信教育部ホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、紙ベースのシラバスを送付しますので、宛名を明記した紙片と120円切手を同封して通信教育部事務室までお送りください。

掲 示 板

・卒業生だより

平成23年3月19日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上での参考にしてください。

井上 寛美

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

今春、ようやく卒業を迎えることができました。振り返りますと、随分長期間を要しての卒業であり、感慨深い思いでいっぱいです。

私の入学の目的は、大学卒業資格取得であり、4年間で卒業を目標にしたのですが、母の介護を中心とする生活は、時間的に余裕が無く、大学通信に目を通せず、レポートにも手つかずの状態が数年続きました。

2年前、卒業までの残りに在籍期間が2年間だと知り、必要に迫られて勉強を再開、卒業に向けて懸命に頑張りました。そして、残る単位数を修得し、卒業に至りました。

本学での勉学は私に、大学卒業資格取得と同時に、知識を得ることは世界が広がり、学ぶ楽しさを教えてくれました。今後は、生涯学習の一環として、更に次の目標に向かってはげんでいきたいと思います。

ここに卒業の日を迎えられたのは、継続学習の機会を頂けたこと、そして学友、姉妹達の協力や励ましがあったからこそだと、ありがたく思っております。

最後になりましたが、ご指導いただきました諸先生方、手続、アドバイス等に変なお世話になりました事務室の皆様には感謝いたしております。本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

通信教育の学習は、努力の積み重ねと、甘い香りに誘われない意志が必要であり、なにより、強い目的意識が重要です。そして卒業するためには、必ず卒業するという目標を持つことが大事だと思います。

そもう一つ、行動(やる気)を起こすことです。通信教育の基本となるレポート作成も自分の意志で動かなければ進みません。レポート作成には、シラバス、教科書、参考文献等を熟読し、書いては読む事を何度も繰り返すことで、内容を理解でき、まとまっていきます。また返却時の先生からの丁寧な添削、的確な指摘は、後のレポート作成に大変役立ちます。レポート提出は卒業への第一歩だと思います。それから、効率よく学習を進めるためには、年4回の試験日程及び時間割等、必要事項が掲載されている大学通信の掲示板をよく読み情報を確認して学習計画を立てることが大切です。単位試験等、計画的に取り組むことができると思います。

掲 示 板

以上いくつか述べました。計画通りには、なかなか進まないこともあると思いますが、目標を持ち、為し遂げたいという気持ちが強ければ、必ず目標達成し、実を結ぶ日が迎えられると思います。

このように学習のアドバイスをしますこと、おこがましくありますが、私の体験から申し上げました。少しでもお役に立ちますならば幸いです。皆様卒業されることを心よりお祈りいたします。

門元 美歩

「卒業に際しての所感」

私は、仕事を続けながら大学に通えるという魅力に引かれて入学を決意しました。最初の2年間は、その学年ごとの単位をきっちりと取得していましたが、関西から離れて引っ越ししてからは、仕事の忙しさでレポートも出せずスクーリングの日程も合わなかったため休学もしました。本当に卒業出来るのかと不安に思った事もありましたがようやく関西に戻ってから残っていた64単位を必死に勉強して取得しました。

卒業までに、6年を要しましたが、専門用語も徐々に勉強していったので、本当に卒業出来る事に喜びを感じます。色々教えて頂いた先生方、丁寧な対応で接して下さったスタッフの方々、卒業までに支えて下さった方々に心から感謝とお礼を申し上げます。

「これから通信教育部で学習される方へ」

入学して最初に戸惑う事は、やはりレポートの書き方だと思います。

私はレポートを書く前に、シラバスを何度も読み返したり「学習概要」「レポート作成について」を見て何を問題にしているのかを明確にしながら進めていきました。ポイントが分かるとレポートもスムーズに書けるのですが、本を読んでもなかなか理解しにくい場合は、一度自分なりにレポートを作成し提出する事が大切だと思います。提出後に先生からの指摘して下さる部分をヒントに、ポイントをさらに絞り書きやすく理解が深まると思います。レポートが「合格」する度に喜びと強い自信が実感出来ると思います。

(とにかく、書いて提出してみてください)

又、通信教育は自分との戦いになると思います。途中挫折しない為にも、スクーリングにはなるべく出席して単位を取得していく事も大切になってくると思います。先生の生の講義や、分からなければ直に質問が聞けたり、志が同じ仲間が出来たり、等々いろんな刺激を受けながら最後まであきらめないで、頑張りたいと思います。

掲 示 板

(自分を信じて、是非頑張ってください。)

伊 藤 晃

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育は、いつでも、どこでも、自分のスタイルで学ぶことが出来るといわれています。しかしなかなか、簡単に出来るものでもないと思います。

仕事をしながら、通信教育で学んでいると、仕事の都合により、スクーリングの講義に参加できない人も多くいらっしゃると思います。

私も、その一人でした。卒業までに8年もかかりましたが、今卒業を迎えて、本当によくがんばったなと思います。人それぞれ、自分のおかれている環境はちがうと思いますが、途中であきらめず、気長に、自分の一番やりやすい勉強のやり方を、早くみつけて、がんばってほしいと思います。

私は、できるだけ通勤時間や休憩時間を利用してテキストを読み進めて、休日などの、まとまった時間を利用してレポートを完成させて、単位試験に望みました。まずレポート合格、単位試験合格、スクーリングと言う感じで勉強を進めました。スクーリングは、会社の都合により、休みが取れるかどうかかわからないので、レポート中心に学習を進めて行きました。

これが、本当によい学習方法とは言えないかもしれませんが、一人一人、それぞれの環境があると思いますので、自分に合った勉強法で、最後まであきらめず、がんばってほしいと思います。また、スクーリングに参加されると、分かると思いますが、いろんな立場のいろんな方が、います。互いのコミュニケーションもでき、情報交換やアドバイスなど、お互いの励まし合いにもなります。できるだけスクーリングにも参加をおすすめします。以上、参考にならないかもしれませんが、がんばってください。

宮本 隆司

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

最後の単位修得試験の結果が届いたとき、本当にこれで卒業できるのだという万感の思いでした。人生において大学卒業の資格が欲しいと思い始め、働きながらその目的を達成できる方法をと調べて出会った大阪学院大学でした。しかし、私は1年次で入学しましたので、やはり勉強をするという強い

掲 示 板

意志を持ち続けるというのは中々大変なことで、結果的に7年の期間を要してしまいました。7年の間には仕事の環境や家庭の環境など様々な変化もあり、年度によってはほとんど大学の勉強に手をつけることができない年もありました。そのため、8年目に突入してしまうのではないかと不安にもなりましたが、なんとか最後の年にペースを上げることができ、単位修得をやり切ることができました。

在学中は、経済の仕組みを様々な科目を通じて勉強することができ有意義であったと感じています。また、簿記検定の資格も取得することができました。今後も自分のために学習を続けていくという姿勢を持ち続けたいと思っています。通信教育部関係者のみなさん、どうもありがとうございました。

さて、私が偉そうに言えることはないのですが、通信教育はリポートを仕上げるのが最大の関門でした。通信課程やスクーリングと異なり、自学自習でリポートを作成しなければなりません。課題の題意を自分なりに理解し、テキストを通読し、また、図書館で関連する書籍を借りてきたりして材料をそろえ、リポートを組み立てていく作業は本当に苦しみの連続でした。題意が自分の中で消化できていない科目ではリポートの合格がいただけないこともありました。その様な時でも担当者の先生への質問等を行ったことがなく、今思えば非効率であったと思っています。是非、積極的に質問し、効率的に学習を進めて下さい。また、スクーリングは、夏期はまとまった休暇取得が必要で、中々一度に多くの科目をとる様なスケジュールを組むことが困難でした。秋、冬は土日の基本となり科目を多くとることは可能となりますが、その分長期間に及ぶため休日のスケジュール調整がまた大変でした。そして、単位修得試験のための勉強ですが、本番のテストは何もない状態で答案を書いていくことになるので、できるだけテキストに書かれていることの要点を理解することに注力しました。

これから通信教育部で学ぼうという意欲あるみなさん、これから様々なことがあろうかと思いますが、是非がんばって、卒業まで学習する気持ちを維持し続けて下さい。

宮本 和恵

「卒業に際しての所感および、

これから通信教育部で学習される方へ」

卒業を迎え、様々な事が思い出され、うれしい気持ちで一杯です。入学当初、卒業までの道のりは長いものでした。7年かけて、目標を達成することができ、満足しています。

私は高校卒業後、経済的自立を優先し、公務員としての職を選びました。

掲 示 板

当時は、選択の余地もなく納得したうえでの決断でしたが、年月が過つにつれ、もっと学ぶチャンスがあったのではないかと思うようになりました。

けれども結婚し家庭をもち、子ども達にも囲まれ、毎日忙しく充実した日々を送るなかで、これ以上時間を生みだす事は考えられませんでした。きっかけを失ったままでしたが職場の職員研修を受講する機会があり、あらためて、学びたい、そして大学に入り、さらには大学卒業の資格が欲しいと強く思うようになりました。本学に出会えた事で、働きながら学べるという事が現実となり、感謝してもしきれない程です。大阪学院大学、そして通信教育部の事務局、関係者のみなさま、御世話になり本当にありがとうございました。

これからも、学ぶことを続けて、また、学びたいと思っている人を少しでも応援していきたいと切に思っています。

これから通信教育で学ぶ方々へは、とにかく初心を忘れずに続けてほしいという事です。

初めて教科書を手にした時のうれしさ、決意を思いだし、前に進んでほしいと思います。私と同じ、1年次で入学するならば卒業まで124単位が必要となり、実際に修得するのは大変です。初めは順調であっても予定通りに進まなかったりする事もあると思います。時には気分転換をし、あせらず、少しでも、前向きな気持ちを大事にしてほしいと思います。そして、数年後の卒業をイメージして、是非、頑張ってください。

熊澤さおり

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

2005年4月に3年次編入し、6年経ってやっと卒業を迎えることができました。入学した時は、3年で卒業することを目標としていましたが、結局6年間もかかりました。高校生時に、大学進学を希望していましたが、さまざまな事情からあきらめ、短大へ進学しました。しかしその後も、ずっと大学進学を簡単にあきらめてしまったことを悔やんでいました。そして、ある日、新聞で通信制大学の説明会の広告を見て、これなら仕事を辞めずに大学へ行けると思い、入学しました。しかし、働きながら、一人で勉強してレポートを書くということは、こんなにも難しく大変なこととは思いませんでした。何度も私には無理だ、辞めようと思いましたが、その度に、ここであきらめたらまたいつかきっと後悔するだろうと思い直しました。そんな葛藤を繰り返しながらの6年間でしたが、今は達成感で胸がいっぱいで、本当に辞めずに続けてきて良かったと思っています。

掲 示 板

通信教育部は、自主学習が中心であり、自分の空いた時間を使って勉強ができるというメリットがある一方、一人で計画を立て勉強を進めていくことは難しくもあります。私もなかなかリポートが書けず、卒業に6年もかかりましたが、やはりリポートを書く際に大切なのは、シラバスをよく読み、課題をよく理解し、教科書を精読することです。2、3回読んでも、さっぱり意味が分からない事もありますが、分からなくてもくじけず、さらに何度も読むことです。それから、リポートですが、教科書の内容が完璧に分からなくても、とにかく書いてみることです。書いていくうちに分からなかったことが分かったり、また自分の間違いに気づいたりと色々と新たに発見することもあります。

それから、計画を立てて学習を進めていくことも大切です。リポートを書くことも難しいですが、単位修得試験の準備や勉強も大変です。私も、1日に5科目受験したことがありましたが、平日は働いていたので、試験前は、体力的にも精神的にもかなりつらかったです。試験の時間割を考えて計画を立て、学習することはとても大切だと思います。

リポートで不合格になったり、試験で不合格になったりした時は、落ち込みくじけそうになりましたが、あきらめなかったことは、これからの私の人生において大きな自信となると思います。皆さんも、入学を決めたときの気持ちを忘れず、あきらめないで頑張ってください。

今村 周美

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私が卒業できるようになるまで、続けることができたのは、マイペースに単位修得試験やスクーリングを受けることができたからだと思います。実際に同年代の人達と通学制で大学に通っていても、4年で卒業に必要な単位数が取れていたかどうかわかりません。けれど、自分のペースで学習を行い、試験・スクーリングに関しても自分の思う要領で行うことができたことによって、他人によってペースが乱されることなく勉強を進めることができたからだと思います。卒業後も自分のペースで仕事をがんばっていかうという気持ちを持つようになったことも通信制の大学を選択してよかった点だと思っています。

私は、中学生の途中頃から同年代との付き合いがうまくできなくなってしまい、高校も通信制を選択し、今はパートで少しずつ仕事をして社会になじむようにがんばっています。10年近くのブランクはありますが、今の職場では何とかがんばれていると思っています。それも、通信制大学で自分のペー

掲 示 板

スを考えることがゆっくりできたからだと思っています。通信制がなければ、どんどん落ち込んでいくばかりだったかもしれません。それに、普通の大学生活を同年代と送っていたら、ペースを乱され、自分のペースが壊れていたかもしれません。その点で、自分のペースというものが通信制大学の利点だと思いました。さらに言えば、周りの人達は年上の方が多く、自分のスタイルを持たれている方がほとんどだったので、ある程度の距離をとって、試験やスクーリングに通うことができたのだと思います。

これから通信教育部で学習しようとしている皆さんにも、いろいろな事情などがあるとは思いますが、この通信教育というものは、本当に自分の責任でペース配分を考えなければならないということもあります。けれど、自分のペースさえつかむことができれば有意義に勉強を進めていくことが可能になると思います。単位修得のためには、レポートを書いて、それに合格してからの試験、その他にもスクーリングで連日登校しなければなりません、楽しむ方法を発見することさえできれば苦にはならないものだと思います。わからないことがあれば、担当の先生にきちんと質問することもできるので、しっかり学習することができるのでとても良いと思います。体制は、しっかりしていると思うので、しっかり学べ、自分の責任をしっかりと持つことができるようになると思います。レポートは大変ですが、単位が取れば、「やった」と思うことができ、卒業に必要な単位数に近づくにつれて、あと少し、もう少しという気持ちが出来てきて、卒業に向けての意欲がより強くなります。

斉藤 信子

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

先月の単位修得試験の結果が届き、無事124単位を取得出来たことで達成感と開放感に溢れております。

私は現役の頃から、高校卒業後は進学を熱望しておりました。しかし当時の環境から就職する道を選ぶ事になりました。後悔はしておりませんが、その時の恩師の『学問は何歳になってもできる』という言葉は私の心に深く刻まれました。その後、働きながらも色々な自己啓発に努めてきましたが、働きながら感じる学歴と言う名の壁と、大学への思いは消えませんでした。そして4年前のちょうどこの時期、実際に働きながら大学へ行っていた知り合いから話を聞き、初めて働きながら行ける大学の存在を知りました。私はすぐに色々情報を集めました。知り合いに更に詳しい話を聞き、インターネットで徹底的に調べ、学校説明会には2度足を運びました。その時に2度も行

掲 示 板

って、何度も同じ事を質問し、他人には判断できない事までも問う私の話を親身に聞いて説明して下さいました事務局の方のことは今でもはっきりと覚えております。その方の対応にこの学校なら、という安心感を受けました。不安要素は全ては拭い去れませんでした、一番自分が興味を惹く学科が揃い自分にあった環境であると感じたこの大学に入ることを決めました。

入学当初は誰もがそうだと思いますが、仕事や家の事もあり、どれだけ勉強する環境を作れるか、時間を捻出できるか、全く目途がつきませんでした。4年で卒業することができなくても、自分のペースで地道に頑張っていこうとスローなスタートでした。レポートの書き方を掴むのに時間がかかりました。与えられた唯一の情報である「学習概要」と「レポート作成について」を熟読し、要点は何なのかを自分なりに理解してテキストを読みました。理解不足を感じる時は図書館へ行き、参考文献を探しました。レポートを提出し、それに対する先生の細かな添削を読み、学を問い続けることを体感することができました。スクーリングには時間の許せる限り積極的に参加しましたが、単位修得試験とスクーリングだけが、同じ志を持つ者との接触の機会でしたが、同志に刺激を受け、一般生とは違う限られた時間での工夫された授業を受け、またその環境を作って下さってる関係者の方々のご尽力を目の当たりにし、自分の背中を後押しされ、目標を達成することができたと感じています。

この経験と本学で学んだ知識はこの先の私に更なる力を与えてくれることだと思います。通信生で学ぶことはある意味通学生より難しいかもしれませんが、時には挫ける事もあるでしょうが、頑張ったことはすべて自分の糧となるに違いないと思います。

張本 幹男

「卒業に際しての所感」

4年前に1年次に入学し、無事4年間で卒業することができました。入学当初は、レポートの書き方・単位修得試験に向けての学習方法などに戸惑い、どこまで続けていけるか不安でしたが、自分なりに学習計画を立て、根気よく一歩ずつ積み重ねていくことによって、全てクリアすることができました。学習を続けていくうちに提出したレポートが返送されてくるのが楽しみになってくるようになりました。

4年間で一番苦労したのが、スクーリングへ出席することでしたが、仕事の休みを何とかとり30単位をクリアすることができました。普段は一人で学習しているため、スクーリング授業は大変ありがたく感じ、深く理解することができました。

掲 示 板

4年間の学習を通して学んだことは、各教科ごとの教科書・参考書などを参考に、その分野の学説を理解し、それに基づいて自分の考えをどのように発展させていくかだと思いました。

大阪学院大学で学んだ各教科において、基本的な基礎ができたと思います。この先更に自分なりに学問を発展させていきたいと思っています。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信制の大学に入学される方は、誰かに強要されることなく、自らの意思で入学される方が多いと思います。学習方法は自宅に送付された教科書を参考に、レポートを提出しそれに合格し、単位修得試験を受けるという流れの繰り返しでした。全て自分の意思で勉強することなので、根気と決して諦めないことが大切だと思います。また、働きながら勉強される方は、その時間を作る工夫が必要だと思います。私は、自宅で就寝前の時間に学習すること、常に教科書・参考書を持ち、仕事の昼休み時間などに少しずつレポートを作成しました。

レポート作成については、指定されている参考書を読むことがベストだと思います。参考書を利用することで、より理解が深まり、上手くりポートが書けると思います。

日常の空いている時間を上手く活用し、少しずつコツコツと学習することによって、仕事を持ちながらも、最短の4年で卒業することは充分可能だと思います。

和田 悦子

「卒業に際しての所感」

最初の1年はスクーリングやレポートも出来ませんでした。2年目以降にようやくスクーリングに参加しました。スクーリングではレポート科目と違い、大学での授業を受けることが出来ます。5日間で講義プラス試験まで行われるのでなかなかハードですが、友達が出来たり授業でわからないところはすぐ教えてもらえるので楽しいです。いろんな人と知り合いになり、どんな職業なのかや入学の目的を聞くと「色々な事情で来られているのだな」と驚きました。

スクーリングに何回か参加してからようやくレポート科目に取り組み始めました。テキスト以外の参考資料は自分で手に入れられないといけないのでとても大変でした。県内の図書館を全て調べて、資料のある所へ借りに行きました。試験の期間中やスクーリングの日には学校の図書館で資料を借りました。

掲 示 板

私が大阪学院大学で身に付けたことは、「レポートの書き方」と「否で返ってきてもあきらめずに出す」ということです。私は最初文章のルールを知らずにレポートを提出していました。おかげで文章構成の評価はよくありませんでした。しかし、機関誌に載っていた「文章の書き方のルール」を参考にしたり、友達に聞くうちにようやく出来るようになりました。レポートを出し始めて何回かは「否」で返ってくることもあり、放置していましたが、このままでは良くないと思い先生の直して欲しいと指示されている部分をやり直して提出しました。3～4回否でレポートが返ってくる時には「この科目はやめたい」と思いましたが、あきらめずに気長に取り組めるようになりました。

私は大学を卒業して就職したいと考えています。そのために必要な文章を書く力やあきらめず取り組む力を身に付けることが出来ました。目標を持って取り組み、達成することは本当に素晴らしいことだと感じました。大阪学院大学で学んだたくさんの方を活かし、これからの仕事に取り組もうと思います。最後になりましたが、事務所の方々、先生方、学校で出会った友達に助けて頂き卒業することが出来ました。本当にありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信での勉強は孤独だと思いがちですが、実は「1人」ではありません。事務所の方々や先生や学校の友達があります。レポート科目では「1人」で勉強することになり孤独と感じるかもしれませんが、メールや質問用紙で相談できます。わからないと感じたらどんどん質問して下さい。挫折しそうなときも自分を信じて、少しずつ取り組んで下さい。

林 和 久

「卒業に際しての所感」

私は2008年4月に入学させて頂きました。私の場合、専門学校を卒業してましたので、3年次に編入学しました。私が大学に入学しようと考えたきっかけは、自己啓発のために何かを勉強したいと考えていた時にインターネットなどで、当初は資格を取得しようかと思い、どのような事を勉強しようかと調べておりました。そんな時に通信制の大学を知り、大阪学院大学が自分に合っているように感じたので、自分に何か変化があればという思いもあり、大学卒業の資格を目指すことになりました。

レポート学習及び単位修得試験、スクーリングと働きながらの学習は大変でした。しかし、少しずつ取得単位が増えていくと辛さが達成感に変わり、

掲 示 板

学習スピードが向上したよう思います。私は卒業に必要な残り4単位修得に時間がかかり、このたびの卒業は本当にうれしいです。

自分自身が目標をもって学習するという大学での勉強は、私の人生にとって大きな分岐点になると思います。今後も学びというもの大切に少しでも広い視野が持てるように努力していきたいものです。

また、大阪学院大学でお世話になりました先生方、事務局の皆さま方、学友の方にはお世話になり大変感謝しております。ありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

私は、入学してからレポート学習の方法がわかりませんでした。レポート学習が出来るようになったのは2年目の夏からでした。

初めて書いたレポートは不合格でしたが、再提出で合格をもらいました。その後は何となくレポートの書き方がわかり、とにかくレポートを提出期限までに書けるだけ作成しました。レポート合格で単位修得試験が受験できたので、一日で5科目受験したこともありました。

とにかく可能な限りスクーリングに参加して、向上心のある学友を見つけして下さい。そこで頑張っている学友に会い、孤独感は軽減されました。モチベーション維持が大切だと思います。

通信教育で大学を卒業しようと思ったその気持ちを大切にして下さい。学業に協力してくれた家族や職場の方に感謝の気持ちを持って下さい。そうすれば続けられると思います。

以上、私の経験から感じた事を述べさせて頂きましたが、自分の学習スタイルを確立できれば、卒業への道はみえてくると思います。

どうか頑張ってください。

梅木 雪子

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私が大阪学院大学に入学しようと思ったのは、同じ大阪の大学の通信教育の短大部で商経科を卒業した際に、さらに会計や流通に関して知識を深めたいと思ったからです。いくつかの通信制の大学を検討したのですが、短大の通信制でもスクーリングや試験を受講する体力や気力や時間の確保に苦労したこともあり、スクーリングに行きやすいかなという理由で学院大を選びました。そのような理由で入学したのですが、入学してからは以前の短大が大規模な環境だったのに比べ学院大ではスクーリングやレポートでの細やか

掲 示 板

なケアがありとても親身なサポートを感じ、やはり入学して良かったと実感しました。特に会計科目に関しては、一応短大で勉強していたつもりだったのですが、国際会計基準や原価管理等、時代の流れに即した一歩踏み込んだ内容を勉強する事が出来てさすが会計の専門校だなと実感しました。スクーリングでも、授業要項に沿うだけでなく創意工夫されていかれる先生方の高い意欲が感じられ感動しました。実は、体調不良が原因で最終日を欠席したために翌年同じ科目を出席したスクーリングがあったのですが、同じ内容であっても前年度とは違う視点が盛り込まれる等や説明方法に変化がある等があって、退屈することなく受講出来てびっくりしました。マーケティングの授業でも実例でわかりやすく説明される等、少ない日程の中で密度の高い内容を無理なく伝えようとして頂くことが出来、得たものは大きかったなと思っています。

私は貿易関係の仕事から始まり、生地や服飾の卸関係の仕事につき、非常に流通とは縁の深い仕事をしてきたので、大阪学院大の授業はそういう点からもとても興味深かったのですが、そうでない方でも、きっと興味がわいてくるのではないかと思います。

三年次編入から3年でなんとか卒業することが出来とても嬉しく思っています。通信制は学校に通う日数が少ないのがメリットですが、常に自分の弱い気持ちとの戦いなので、もうあきらめようかなと思ってしまうことも多かったです。ただ、その分やり遂げた時の達成感も大きく、誰になんと言われても自分自身でその気持ちを実感出来るのが醍醐味だと思います。学院大に通った3年間は長いようで短く、あっという間でしたが、3年前と比べて確実にたくさんの事を理解出来るように成長出来たなと思います。また、さらに多くの事への興味関心も出てきましたが、それらを今後につなげる指針も得られました。通信制で学ぼうとする方はそれぞれ違う目的を持たれて入学されると思いますが、どのような目的であっても、実際に学ばれる中で、大学で体系だった内容を学ぶ中で思いの他多くのものを得られる事を感じられると思います。今年運良く卒業する事が出来ましたが、私自身まだまだ学び残した事も多く、学院大を卒業してからも、またさらに学び続けていけたらなと思っています。そして、この意欲を持ち続けさせてくれた大学の熱心な授業とケアに感謝しています。

小 林 豊

「卒業に際しての所感および、
これから通信教育部で学習される方へ」

私は大学理系学部を卒業後、地方公務員として勤務しているが、以前に大

掲 示 板

学経済学部を中退した経緯があり、通信教育部の文系学部で学びたいと考えていました。数多い大学通信教育部の中で大阪学院を選択したのは、学費が安く、レポートや単位の取得が比較的容易であると思い、無理なく学べると考えたからです。3年次編入であり、登録単位全てが専門科目の中からでしたが、簿記・会計科目にはさほど関心がなかったのも、経済・経営・商学に関する科目を興味がわいた物から選択し学ぶ形でした。ゆえに、取得科目を見渡せば、浅く広くの総花的に完結した気もしますが、あくまで学問追及への指針を与えてくれたものであり、卒業してからも、何らかの形で学んだ知識を深めていきたいと思います。

大学通信教育部は、入学試験を課さず、学費も廉価、幅広い年齢層という性質上、通学生と比して一層、学生の能力、基礎学力、要領の良さ等、スペックの差が大きく、バラツキがあると思われます。また、学ぶ目的も、大学卒業、学士取得のため、税・会計の資格取得の基礎固め、教育免許取得のため、あるいは何か勉強したいから、はては友達作りのため、と多種多様でしょう。ゆえに、全ての方に適したアドバイスは難しいと思いますが、あえて言うなら、それぞれの目的や状況に応じた、自分にとって適した学習方法を選択されることが重要かと思います。

松原 好和

「卒業に際しての所感」

私は、高校を卒業してから医療関係の専門学校へ進み、今医療従事者として仕事をさせていただいております。日々仕事に追われる中、自分の知らない事や足りない物が多いと感じるようになり、一人の社会人としてもっと知識や教養を身につけたいと思い入学を決意しました。

大阪学院大学を選んだ理由は、まず簿記に興味があった事と経営や会計といった、今の自分がしている仕事にも非常に関係してくる内容ばかりで将来役に立つと思ったからです。もう一つは、仕事の都合上、なかなか遠方の大学へ通うのは難しく、スクーリングのことなどを考えると自宅から通うことができる大学であったからです。

入学してから間もなく、教材の入った荷物が自宅に届き自分は、大学生になったのかなという不思議な感じでした。やる気と不安の中、試行錯誤しながらようやく卒業を迎えることができました。大学で学んだことをさらに今後の人生においてステップアップさせていきたいと思っていますところです。

最後に、事務局や教職員の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。

掲 示 板

「これから通信教育部で学習される方へ」

入学されてからやはり最初に戸惑うのがレポート学習の進め方だと思えます。レポートを作成する上で、教科書をどう読んでいいのかのような構成で書いていけばいいのかなど最初はかなり時間を要すると思えます。

私自身、今までまともな文章を書いたことがなくとても苦手の作業でした。けれども、時間をかけて、じっくり教科書や参考書などを読み込みそれを理解し表現する作業はとても私にとっていい経験と自信になりました。と言っても、レポートを書くにはかなりの時間が必要であり、その時間を確保するのが難しい方多いと思えます。そこで時間の有効利用の一つとして私がしたのは、仕事場から一番近くである程度専門書などがそろっている図書館を見つけることにしました。昼休みなどを利用して、本を借りに行ったり、レポートを書いたり、多に利用させていただきました。本来ならば大学の図書館あるいは、自宅近くの図書館を利用するのがいいと思えますが、特に時間に制限のある方であれば良い方法になるかもしれません。

学習を進める上でいろいろとわからない事や迷いが出てくると思えますが、それなりに時間を確保できるのであればスクーリングにできるだけ参加する方がいいと思えます。やはり仲間を作って相談しあうことが通信教育を進める上で本当に大切だと思います。

仕事や家庭など様々な状況下で大学生活をゆったりするのは難しいかもしれませんが、少しずつ一つ一つ進めていってほしいと思えます。

藤井 信三

「卒業に際しての所感」

私が大学で学ぼうと考えだしたのは、高校を卒業し勤めだして25年という節目が過ぎ、子どもも何時の間にか大きくなり、休日に時間的な余裕を多少ながら持てるようになったことがきっかけでした。

勤めだして間もない頃に夜間の短期大学を卒業していたので、共通科目を一括で単位認定していただけることを知り、仕事で多少なりとも関わりがあるかもしれない専攻科目のみを履修すればよいこともあって、それが自分を大きく後押ししたと思っています。

大学での授業は、学んだ知識が仕事で、あるいは社会人として直ぐに活かせる内容であったと感じており、これまで社会人として自分が得た知識と融合して理解が進んだもの、全く新たな知識として習得できたものがあり、自分の人生にとって非常に意義深いものとなったと考えています。

さらに、小学校時代に感じ忘れかけていた学ぶことの楽しさも思い起こせ

掲 示 板

た様に感じています。

大学での学びを契機として、私は「人生に必要なことは学びの継続である」と再認識できたと考えています。

この様なきっかけとなる学びの場を提供いただいた大阪学院大学通信教育部、並びにご指導いただいた先生方には大変感謝いたしております。ありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育部の学習で最も重要なことは、強い意志をもって妥協せず計画的に学習を進めることに尽きると考えています。

履修科目の選択にあたっては、シラバスを参考にして自分の興味のある科目を基本に科目選択を考えるべきであると思います。やはり興味のある科目は学習が進みます。

学習理解が進み最も単位を取得しやすいのはスクーリングです。ただし、スクーリングは毎年開講されない科目もありますので複数年で履修計画を立てる必要があります。

一方、通信科目の学習方法ですが、まず、レポート課題と単位修得試験問題を頭に入れ(だいたいレポート課題と単位修得試験問題はその科目のポイントになっています。)テキストを読込んでいくのですが、読みながらポイントと思われる箇所をラインマーカーし、それを活用してレポートを作成していました。さらに、単位修得試験前には、ラインマーカーをもとにポイントメモを作成し暗記するといった方法で私は学習していましたが、そこで活用していたのが、通勤電車内でした。やはり、社会人には学習の時間を生み出すのが一番の課題となります。学習時間はつくろうと思わなければいつまでも出来ませんので、皆さんも工夫を凝らして時間をつくり出していただければと思います。

野間 敏恵

「卒業に際しての所感」

私は、簿記・会計やマーケティングなどの経営や流通経済に関する科目を一度体系的に学んでみたいと考え、大阪学院大学通信教育部に3年次編入学しました。2009年4月にスタートした学生生活は、幸いにも2年間という最短で終了することができました。

学習を開始するにあたり、卒業までの学習計画を立てたが、「課題がうまくまとめられず字数指定のあるレポートが作成できない」「予定が重なり単

掲 示 板

位修得試験を受験することができない」「スクーリングに参加するための調整することが難しい」など様々な壁にぶつかり挫折しかけたこともありました。しかし、様々な目標を持った人たちとの出会い、スクーリングにおける諸先生方の熱心な講義、事務局の職員の皆様のサポートなどに接することにより前に進むことができました。

私一人の力では到底卒業までたどり着くことはできなかったと思います。お世話になった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育部を卒業することは、基本的に楽なものではありません。

通信教育部での学習は、自己学習が中心となりますので、良くも悪くも自分次第ということになります。順調にレポートや単位修得試験に合格するとは限りません。科目によっては、レポートが合格せず何度もやり直したり、単位修得試験に合格せず受け直したりするなど、つまりく時があるかもしれません。

そんな時は大阪学院大学通信教育部に入学した理由を思い出し、絶対諦めないでください。諦めずに何度も挑戦すれば単位は必ず修得することができます。

そして、諦めずに一步一步進んでいった先には卒業というゴールが待っています。

頑張ってください。

山田 晃義

「卒業に際しての所感」

通信教育部へは、3年時編入で入学しました。大学卒業の資格を取るためという軽い動機ではありましたが、勉強する内容がもともとやっていた専門とはまるで違い、真新しい分野であったので、少し不安もありました。

しかし、スクーリングでの丁寧な授業や、事務の方の親切な対応のおかげで、無事2年で卒業することができました。関係者の方々に、深く感謝申し上げます。

「これから通信教育部で学習される方へ」

私は3年時編入でもあり、それまで(工学部)とは全く違う分野で、予備

掲 示 板

知識がなく勉強にかなりとまどいました。

そういう自分から言えることは、まずはシラバスをしっかりと読み、計画立てて、関連する内容の授業科目からとっていくことだと思います。私はバラバラに科目名を見てとったのでかなり苦労しました。後から、「これ前とったのと内容がぶってる!!」と思わされ、やはり基礎から順番にとっていくことをお勧めします。

次はレポートですが、まずは教科書をしっかりと読み込むことだと思います。そして、レポートの題意が何であるかをしっかりと理解していくことだと思います。

後は重要であると思う内容をまとめていけば、大概のレポートは通ると思います。添削も、どこをどうすれば良いのかしっかりと書いてくださっているので、自分で思い悩むなら、一度提出して添削していただいた方が早いのではないかと思います。

最後はスクーリングですが、これには極力出席された方が良いかと思いません。働いておられる方々には、それだけの時間をあけることは簡単ではないかと思いますが、理解を深め、早く卒業することを考えているのなら、スクーリングに参加すればいいでしょう。

自分がスクーリングで驚いたのは、先生方が本当に丁寧に教えてくださることでした。

前に行っていた大学では、勉強は自分でするものという大前提のもとに、あまり事細かく教えるという感じではなかったもので、その差にビックリしました。そのおかげで、理解が深まり、レポート科目も進むという相乗効果が得られたと思います。

以上が私の所感ではありますが、何か参考になれば幸いです。

大阪学院大学の通信教育部は、本当に環境が整えられており、学習しやすかったです。在学中の皆様も、この環境を活用して、しっかりと学んでください。

松本 知子

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

通信制の短大を卒業し、3年編入してから2年間。卒業を控え、大卒という肩書きを得られるうれしさと、これからまた普通の生活に戻ってしまう焦燥感とののはざまに立たされている複雑な心境です。何か目的を持って入学したわけではなく、単なる学歴コンプレックスがきっかけでした。高校卒業後、進学していたら...と少し後悔しましたが、勉強が嫌いで就職を選んだのは自

掲 示 板

分でした。あの時、やるべき勉強をサボったツケがまわってきたのだなと感じ通信制での勉強を決めました。勢いで入学したので本当にやり通せるのが不安でしたが規定年数いっぱいまでかかってでも卒業するのを目標としました。

働きながら勉強するのは、根気が必要と頭ではわかっているけど、今日こそは、明日やろう、と先延ばしにして学習計画は遅れる一方でした。やらなくても誰からも何も言われないことをいいことに何かと言い訳をつけている自分に不意に気づき、われに返りました。家ではテレビや他の誘惑に負け集中できないので、図書館へ行き学習できる環境を作りました。最後までやり遂げられたことには自分自身もビックリしていますが得たものは非常に大きく、やってよかったと思います。今後、新しい目標を見つけ、自信につなげていきたいと思っています。

通信教育でレポートの書き方がわからないとつまづいてしまうのは共通した悩みだと思います。「最初は出来なくて当たり前」だと開き直ってとりあえず100文字書いてみました。100文字を20回繰り返して2,000文字です。どうにかこうにか作成して一度提出すれば先生が添削してくださいます。提出しないと、わからないままモチベーションが低下し、ズルズルと遠ざかってしまいます。返却されたレポートの辛口コメントにしょげてしまうこともあります。立ち止まると、やらなくなってしまいます。地道にやり続けることでコツをつかめるようになった気がします。元々勉強が嫌いという苦手意識はいつのまにか気にならなくなっていました。多分、今までは勉強をやらされていたのだと思います。

せっかく通信制の大学へ入学しようと、一歩踏み出したことがすでに、変化の第一歩だと思います。本校は生徒数が少なく、試験回数やスクーリング科目も恵まれているとは思えません。スクーリングに出席し友達ができると、励みになります。人数が少ないので、かえって声をかけやすい環境ではないでしょうか。うまくスケジュール調整して単位取得に励んで下さい。

川上 晃生

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は、平成18年、本学のグループ校である関西医科専門学校理学療法学科部に入学し、そこで事務局の方より、専門学校で勉強しながら大阪学院大学通信教育部に編入し単位を修得できるというお話を伺い、少し不安もあり悩みましたが、この機会を逃してはいけないと思い決心し、平成19年通信教育部選択履修課程として入学しました。

掲 示 板

私は既に結婚し幼い子どももいましたので、早朝より夕方迄仕事をし、家事や育児も手伝いながら、平日の夜は専門学校での勉強に費やすという日々でした。そのような状況で、通信教育の勉強に費やせるのは土日しかありませんでした。情けない話ですが、高校を卒業して約10年、本格的に何かを勉強するという事を全くしていなかったため、専門学校での医療の勉強だけでもかなり大変でしたが、高校で普通科出身の私にとっては、簿記や会計、税や商法などは全く未知の分野で、講義の内容や専門用語がなかなか理解できず、勉強に難渋しました。特にレポート提出期限が迫ったり、単位修得試験前は寝る間も惜しんで勉強しなければいけなかったため本当に大変でした。しかし担当の先生が、熱心に分かりやすく教えて下さった事や専門学校内で私と同じように通信教育を受けていた友人達の助言もあり、徐々に勉強やレポート作成にも慣れていきました。

年に数回ある単位修得試験は、毎回本学で受験していましたが、大学でのキャンパスライフというものを知らない私にとっては、大学という空間の雰囲気や学生がサークル活動している様子を肌で感じる事ができ、何か羨ましく思うと共に、自分の気持ちも少し若返ったような感覚になりました。平常は仕事、勉強、育児などに追われている私にとって、大学で過ごすわずかな時間は非日常的体験ができる貴重な空間、時間となっていました。しかし、いざ試験会場に入ると自分よりもはるかに年上の方が、真剣な表情で試験に臨まれている姿を目の当たりにし、自分ももっと頑張らなければと、身の引き締まる思いになりました。そのような事を4年間繰り返し、ようやく卒業を迎えるに至りました。

大学の通信教育生としての4年間を改めて振り返ると、行って良かったなと正直に思います。今は、大学を卒業したからといって特に目に見えたメリットがあるわけでもないのですが、通信教育で履修することにより、自分自身の知識や考える幅が少しは広がったように思います。また未知の分野に挑戦しようという意欲とそれに対して積み重ねた努力は今後の社会生活においても必ず自身の糧として役に立つものと思っています。

これから通信教育部で学習される方々にもその事を実感して頂き、積極的に二足、三足のわらじを履いて頂きたいと思います。

新井 一弘

「卒業に際しての所感および、

これから通信教育部で学習される方へ」

学士号を取れば、就職活動でも強みになるはず。当初はそういった軽い気持ちで始めました。知識が増えれば可能性も広がる、そう信じて通信教育で

掲 示 板

の学士取得を目指しました。

高度な理学療法に関する専門知識を身につけるだけでなく、大学において学ぶ質の高い教養と幅広い医療福祉に関する知識修得は、将来医療福祉の分野で必ず活躍の場を広げることを可能とします。また、専門学校において専門士を取得し、国家試験の受験を経て理学療法士の資格を取得するだけでなく、学士を取得することによって、新しい時代の医療福祉機関で活躍する経営センスを兼ね備えた理学療法士になることを理想とし、努力してまいりました。

しかし、専門学校での医療福祉についての勉強、通信教育部でのレポート作成・スクーリングの併用は簡単なものではありませんでした。自分で教科書を読解し、レポートを提出する厳しい学習法は開始時には困難だと感じました。これまでの学業で通常経験する受講や演習、共同研究、直接の教員指導といった一連の教育プロセスとは違い、自主学习が全てとなりました。仕事を持つ日常の中で、一人で計画的に学習することは大変なことです。しかし、だからこそそ力がつき、勉強の価値が高く評価されると信じていました。また、通信教育部では年齢層も幅広く、近畿圏以外の地方や遠く海外からも受講していると聞いたこと、サポートしてくださった講師や同級生、家族の支えもあり、困難な状況でも乗り越えることができました。

通信教育の卒業にたどり着けた要因。それは、周りからの支え、学習計画と根気の継続だと考えます。特に学習計画は、継続性に主眼をおき自分の生活に適した通常の実施計画、最大限実施可能な計画など複合計画をたてる必要があります。その上で、計画がスムーズに進行しているかを時間的・量的・質的な観点から絶えずチェックし、毎日の学習に生かすことが大切です。

昨今の不況の中、今後、病院では経営面がより重要になります。理学療法士として病院勤務で経験を積み、将来は大学院での専門的な研究を考えています。その先には医学福祉経営を更に極め、病院経営に携わる一員になりたいという夢があります。今後も日常業務の中において壁に当たる場面があることと考えます。しかし、今後は通信教育課程の中での貴重な知識と、心の成長を武器に根気を持って乗り越え、更なる飛躍を目指してまいります。

大野 博幹

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は大阪学院大学の系列校である、関西医科専門学校に入学し、理学療法士に関する事を学ばせて頂きました。入学して早々に大阪学院大学へ関する話を頂き、その時は「大学の資格」欲しさに勉強する事にしました。しかし、

掲 示 板

実際にスクーリングや各学科のテストを受け、そして、他の生徒の方とコミュニケーションをとる中で様々な事を教えて頂きました。

スクーリングやテストでは、日頃、専門学校で受けるテストとは全く違い、経理・商法・病院経営と言った、経済の事について多くの事を学ぶ事が出来ました。これにより、日本経済や株に興味を持ち、新聞やニュースを見る所が変わってきました。また、職業的に様々な年齢層の方と短くて1時間程度話をする事がほぼ毎日あるため、話の話題として経済について話をする事が出来、多くの方と話し会話がはずんでいます。このため「大学で学んで良かった」と思う事が多々あります。

スクーリングに行くとき他の生徒の方と話す機会が多々ありました。皆さんそれぞれ様々な事を経験し今に至っている方が多かったとの印象を受けました。その中で、専門学校を通いながら、大学に通いとしても「贅沢だな」と言う事に気づかされ、良い刺激を頂きました。また、高校を卒業して直ぐに専門学校に入学したため、皆さんには社会の厳しさを教えて頂き、人としても貴重な財産を得る事が出来たと思っています。

これから通信教育で学習される方には、大学でしか味わえない雰囲気や考え、そして、沢山のひととの出会いを大切に卒業まで大学を満喫して頂きたいと思えます。

雰囲気はとても良く「様々な分野で興味を持てば、図書室等に行き学べる」と言う印象を受けました。このため、高校で学んだ事とは違い、今後社会に出る際に必要な事をより沢山学べると感じ、雰囲気が良いと思えました。

考えについてですが、特に専門学校から、大阪学院大学へ行かれる方ですが、社会に出てから理学療法以外の事についても多く学ぶ必要があると感じています。このため、今学んでいる事もどこかで必要になってくる事もあると思います。このため、今理学療法以外の事を学んでいる事を大切にしたいと思っています。

最後に沢山のひととの出会いについてです。人と沢山出会う事で多くの事を学ぶ事が出来ました。学べた事は、考え・感性です。その他にも様々な事を学べましたが、この二つが特に印象に残っています。このため、大学では多くの生徒の方とコミュニケーションを取り、人として大きくなって頂きたいと思っています。

木村 敏也

「卒業に際しての所感および、

これから通信教育部で学習される方へ」

私が専門学校に入学し、通信教育部に編入して、学士号を取得しようと決

掲 示 板

めてから、早4年が経とうとしています。今にして思えば、専門学校との両立で、あっという間の4年間だったと思います。このような、専門学校との両立という忙しい生活の中で、最後までやり遂げることができたのは、石原先生を始め、多くの方々を支えて頂いたおかげだと思っています。

私は今、理学療法士として病院で勤務しております。そのため、大学を卒業して学士号を取得しても、すぐにその資格を使う機会はないかもしれません。しかし、そのような状況であったとしても、私にとって大学を卒業するという事は、とても大きな意味を持っていました。私が4年前、通信教育部に通い学士号を取得しようと考えたのは、ただ資格が欲しかったわけではありませんでした。その頃の私は、何か新しいことを始めるのではなく、何か所に留まっているような状態でした。そのため、専門学校に入学したのを機に、何か新しいことを始めようと考えていました。そのような時に、大学に編入し、学士号を取得することができるとの話を聞きました。私はこの話を聞き、チャレンジしてみるべきと考え、通信教育部での生活をスタートさせました。その時から4年、ようやく卒業を迎えます。私にとってこの卒業は、資格を取得できたことよりも、自分の行動によって始めた事を達成することができたという充実感が大きいです。この1つのことをやり遂げた経験は、今後生きていく中で、必ず自分に役立つ時が来ると思っています。

これから通信教育部で学習される方に私が伝えたいことは、どんなに幸福と遠のいた状況になったとしても、諦めずに最後までやり通してほしいです。通信教育部に入学されるみなさんは、それぞれ入学される理由があると思います。しかし、どのような理由であったとしても、やり遂げた時に得られる経験というのは、みなさんに平等であり、そして、とても貴重なものだと思えます。みなさんが無事卒業できるように応援しています。

最後に、これはある人からお聞きしたことなのですが、人は誰しもが自分の前にある壁を乗り越えて成長していきます。そして、その壁というのは、必ずその人が乗り越えることができるものであるということです。今回、大学を卒業できたことは、無事に壁を乗り越えることができたということなのかなと思っています。今後も今回の経験を生かし、新たな壁もしっかりと乗り越えていけるように、日々努力していこうと思っています。

高橋眞太郎

「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

念願の学士号取得を大阪学院大学の通信教育を通して得る事ができ、とても嬉しいです。関西医科専門学校卒業後、理学療法士国家試験に合格をした

掲 示 板

場合に、大阪学院大学への編入に当たり94単位の一括認定が認められる制度を利用し、4年次編入しました。そのため、大学で過ごす時間は非常に短く、たくさんの思い出というものはありません。ですが、卒業まで真摯に対応してくださった講師の先生方には、感謝の気持ちで一杯です。

関西医科専門学校在学中は、他の学生達より履修する単位数が多く、大変だろうなと思っていました。しかし、同じ志を持った仲間と親切で丁寧な先生方に恵まれたおかげで、無事、専門士・理学療法士・学士の称号取得に至りました。関西医科専門学校卒業後は、理学療法士として病院に勤務しながら、大学での単位修得も不安がありました。理学療法士1年目にとって臨床の現場では、右往左往することが多く、患者様・家族様から求められる知識・技術も非常に多いという印象です。しかし、関西医科専門学校と大阪学院大学の科目等履修生として学んだ知識・技術が、臨床ですぐに役立てることができました。その結果、患者様、家族様からはいつも「ありがとう」と声を掛けてもらっています。

学校教育の中で、勉強してもわからない、先生の教え方が悪い、どうやって勉強していいかわからない、ということが多い印象があります。でも、そのほとんどが「理解しようとしていない」ということに尽きると思います。わからなければ先生に聞けばいいし、勉強の方法も先生が教えてくれます。聞いて理解しようとしていないからではないでしょうか。私は30歳を前に、会社を辞め、学生へと転身しました。その時、結婚子どもも2人いました。失敗できない、留年できないという危機感は、他の学生達より大きかったと思います。ですが、その危機感があったからこそ、今の自分があるのだと強く確信しています。

これから通信教育部で学習される方へ私から伝えられることは一つだけです。それは、背水の陣で仕事と学業を両立させるということです。通信教育で勉強しようと思う人は、勉強することが目的で大学に入学しようという人ではないように思います。何かしら、その先のビジョンに向かって進んでいる人だと思います。そのビジョン・夢に向かって一步一步前進し、大学学院大学の通信教育を通し、たくさんのことを学んでください。大きな夢を掴みとれると私は信じています。

 掲 示 板

. 行事予定 (6月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 創立記念日 事務休日	3 日本学生支援 機構奨学金 出願書類請求 締切日	4
5 事務休日	6	7	8	9	10	11
12 事務休日	13	14	15	16	17	18
19 単位修得試験 (本学・学外)	20 夏期スクーリング 受講申込受付 開始	21	22	23	24	25
26 事務休日	27	28	29	30 (至7月1日) →		

 掲 示 板

. 行事予定 (7 月)

日	月	火	水	木	金	土
					1 夏期スクーリング 申込受付終了 →	2
3 事務休日	4	5	6	7	8	9
10 事務休日	11 夏期スクーリング 振込証明書 提出期日 教職総合演習 受講申込締切日	12	13	14	15	16
17 事務休日	18 海の日 事務休日	19	20	21	22	23
24 事務休日	25 8月単位修得 試験受験申込 受付開始	26	27	28 夏期(第 期) スクーリング開始 教職総合演習 講義開始	29 (至7月29日) →	30
31 (至8月2日) →						